



## 一般会計



歳入から歳出を引いた収支は、19億円の黒字となりました。歳入では、市税や地方交付税などが予算額を下回ったものの、歳出をできる限り節約したことから、49億円を取り崩す予定であった市の貯金（財政調整基金）について、24億円の取り崩しにとどめることができました。

差し引き19億円から5億円を貯金し、14億円を20年度の歳入に回しました。

**歳入総額**  
**7,607億円**

前年度比77億円(1.0%)減

**歳出総額**  
**7,588億円**

前年度比56億円(0.7%)減

貯金 **5億円**  
繰り越し **14億円**

**37.1%** **市税** **2,824億円**  
市民税、固定資産税、都市計画税など

市民一人当たり15万円

※20年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)で除して算出

**15.4%** **国庫支出金** **1,175億円**  
国が必要だと認めた事業に対して、国から配分されるお金

**14.1%** **諸収入** **1,071億円**  
貸したお金の返済金や、宝くじの収益金など

**13.4%** **地方交付税** **1,018億円**  
歳出に対して歳入が不足する場合に、国が一定のルールに従い配分するお金

**6.1%** **市債** **465億円**  
施設を造るときなどに借るお金

**13.9%** **その他** **1,054億円**  
国や道が市の代わりに集めた税金や、ごみ処理の手数料など

個人市民税や固定資産税が増えたことから、164億円増加しました。

障がいのある方に対する給付や児童手当支給費の増などにより、64億円増加しました。

国民健康保険事業への貸し付けが減少したことなどから、88億円減少しました。

市の職員給与費の減や法人市民税算入額の増などの影響により、113億円減少しました。

ノルディックスキー世界選手権大会の終了などにより19億円減少しました。

市民一人当たりのサービス40万円  
※20年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)で除して算出

**27.0%** **保健福祉費** **2,050億円**  
医療、福祉、保健などに関するお金

**15.1%** **諸支出金** **1,142億円**  
特別会計や企業会計の運営を補助するお金など

**13.7%** **職員費** **1,039億円**  
市の職員の給料や退職金

**12.7%** **公債費** **961億円**  
施設を造るときなどに借りたお金(市債)の返済金

**10.6%** **経済費** **808億円**  
札幌の産業を育て、経済を活性化させるためのお金

**10.3%** **土木費** **781億円**  
市民の皆さんが使う道路や公園などを整備するお金

**10.6%** **その他** **807億円**  
教育やごみ処理に関するお金など

## 特別会計

二つの会計で、赤字となりました。また、団地造成計は役割を終えたため廃止しました。



赤字会計と  
その理由

- 国民健康保険会計  
過去の保険料滞納分の累積のため
- 老人医療会計  
国から支給されるはずの国庫支出金が支払われなかったため(20年度に精算されます)

区分	歳入	歳出	差引
土地区画整理	62億円	62億円	0円
団地造成	1億円	1億円	0円
駐車場	3.5億円	3.1億円	0.4億円
母子寡婦福祉資金貸付	2.6億円	1.7億円	0.9億円
国民健康保険	1,978億円	2,040億円	-62億円
老人医療	1,716億円	1,740億円	-24億円
介護保険	875億円	858億円	17億円
基金	20億円	15億円	5億円
公債	4,497億円	4,497億円	0円